

11 エアゾール缶等

【関連章第4章3】

事例1 「ガスファンヒータ付近に置いていたスプレー缶内のガスに引火し爆発した火災」

出火時分 11月 1時ごろ
用途等 共同住宅 耐火造 5/0 延べ 700 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 床、天井各若干等焼損 傷者1人
概要

この火災は、共同住宅の3階居室から出火したものです。

出火原因は、3階居住者が室内でガスファンヒータのスイッチを入れた後、付近に置かれていたスプレー缶が熱を受けて底が抜け、内部の可燃性ガスに引火し、爆発したものです。

居住者は、ガスファンヒータのスイッチを入れしばらくすると、爆発音が聞こえたため確認したところ、周囲の新聞紙等が燃えていたため、素手ではたき、初期消火をしています。

通報は、4階居住者が、爆発音と3階からの白煙を確認したため、自身の携帯電話から実施しています。なお、初期消火の際、3階居住者は火傷を負っています。

教訓等

この火災は、ガスファンヒータ使用の際、スプレー缶を周囲に置いていたため発生したものです。スプレー缶は噴射剤として可燃性ガスを高圧で封入しているため、炎や熱の影響を受けやすい環境におくと、内圧が高まって破裂し、さらに可燃性ガスに引火して大きな損害を受ける恐れがあります。

取扱いの際は、スプレー缶に記載されている注意書きをよく読み、細心の注意を払うことが大切です。



写真 11-1 出火箇所の状況



写真 11-2 爆発による損害状況

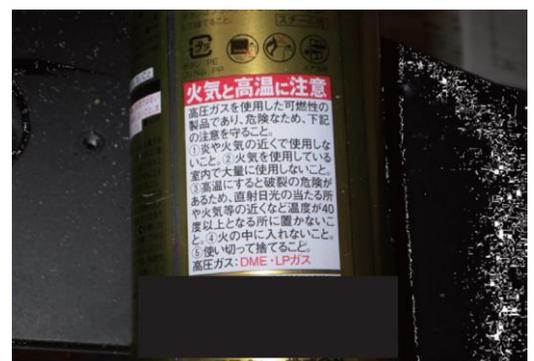


写真 11-3 焼損したスプレー缶の状況